

文部科学省補助金 平成20年度研究拠点形成費等補助金(若手研究者養成費)  
大学院教育改革支援プログラム(大学院 GP)「創薬に向けた医薬科学を先導する人材の養成」  
医学・薬学合同ウィンタースクール

## 若手研究者からのメッセージ

日時: 2009年1月17日(土) 10:00～16:40

会場: 慶應義塾大学信濃町キャンパス 北里講堂

開会の挨拶 ( 10:00 ~ 10:05 )

医学研究科委員長 岡野 栄之 教授

大学院GPプログラム紹介 ( 10:05 ~ 10:15 )

当プログラム代表者 河上 裕 教授

## 午前の部 ( 10:15 ~ 11:45 )

司会進行:坂元 亨宇 教授(病理学)

入江 奈緒子(医学研究科博士課程3年 微生物学・免疫学/発生・分化生物学)

10:15 ~ 10:45

「細胞間コミュニケーションによる骨リモデリング制御の解析」

水谷 文(薬学研究科博士課程2年 創薬物理化学)

10:45 ~ 11:15

「精密重合法を用いた温度応答性ナノ界面の調製とバイオマテリアルへの応用」

内藤 智昭(医学研究科博士課程3年 医化学)

11:15 ~ 11:45

「腸管上皮細胞間T細胞と歩んだ6年」

11:45 ~ 13:00 休憩

## 午後の部 ( 13:00 ~ 16:30 )

司会進行:三澤 日出巳 教授(薬学部)

築地 謙治(医学研究科博士課程4年 漢方医学)

13:00 ~ 13:30

「修士課程から博士課程へ ~ 更なる研究の飛躍 ~」

佐藤 和子(薬学研究科博士課程3年 薬剤学講座)

13:30 ~ 14:00

「血液胎盤関門における物質輸送メカニズム及びトランスポーターの役割」

特別講演( 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 1 0 )

座長:三澤 日出巳 教授(薬学部)

**富田 進**(Assistant Professor Department of Cellular and Molecular Physiology Yale University  
School of Medicine)

### 「脳を解明すること - アメリカ研究生活紹介」

「アメリカで独立研究者として生きていく喜びと苦勞 - PhD 研究者としての心意気 - 神経伝達の分子メカニズムの解明から神経の可塑性の謎に迫る」

1 5 : 1 0 ~ 1 5 : 2 0 休憩

特別講演( 1 5 : 2 0 ~ 1 6 : 3 0 )

座長:笠原 忠 教授(薬学部長・薬学研究科委員長)

**吉田 賢右**(東京工業大学教授、資源化学研究所・所長)

### 「闘う細胞エネルギーの研究者たち」

「研究の楽しみ、私はなぜ研究者をつづけてきたのかー研究者に必要な資質、研究の方向性、研究の仕方、研究論文の書き方、発表の仕方、研究費の獲得法など - ATP合成酵素の研究を例に、もう少しでノーベル賞をとれた！」

1 6 : 3 0 ~ 1 6 : 4 0 閉会の挨拶

薬学部長・薬学研究科委員長 笠原 忠 教授

---

1 7 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0 懇親会

場所:グリーン食堂